

## 「特産種苗」バックナンバー

当協会のホームページに、PDF 版を掲載しています。  
「特産種苗 情報誌」で検索してください。

| 号  | 発行年月     | 特 集 内 容                |
|----|----------|------------------------|
| 1  | 2009年1月  | 創刊号、雑豆（小豆、菜豆、その他）      |
| 2  | 2009年4月  | 雑穀（アワ、ヒエ、キビ、その他）       |
| 3  | 2009年7月  | ハトムギ                   |
| 4  | 2009年9月  | 雑穀類の生産状況（平成17～20年産）    |
| 5  | 2009年10月 | 油糧作物（ナタネ、ヒマワリ、ゴマ、オリーブ） |
| 6  | 2010年1月  | 甘しょ                    |
| 7  | 2010年4月  | ばれいしょ                  |
| 8  | 2010年8月  | アマランサス・キノア             |
| 9  | 2010年11月 | 雑穀類の生産状況（平成17～21年産）    |
| 10 | 2011年3月  | ソバ                     |
| 11 | 2011年8月  | 6次産業化                  |
| 12 | 2011年11月 | 甘味資源作物                 |
| 13 | 2012年2月  | 雑穀類の生産状況（平成18～22年産）    |
| 14 | 2012年10月 | 品種の収集・保存・配布            |
| 15 | 2013年1月  | 雑穀類の生産状況（平成19～23年産）    |



## 編集後記

### 【編集後記】

本号では特集として「薬用植物」を取り上げました。

薬用植物については、これまで厚生労働省において育種、栽培、生産技術等の研究を幅広く実施してきており、また、製薬会社においては、近年、国内生産地の拡充に乗り出しているところも出てきています。

漢方製剤・生薬の原料となる薬用植物は8割以上を中国からの輸入に頼っており、安定供給を図るために国内生産を高めることが求められていますが、漢方製剤・生薬は、原料の品質に大きく左右されるため、一定の品質が確保できる栽培技術が必要であるといわれます。

このため、厚生労働省と農林水産省は連携して薬用植物の国内での栽培を拡大させるための具体策について意見交換を進められ、先般の農林水産省の平成26年度予算概算要求では、薬用植物の産

地を創出するための予算が新たに要求されています。

このように国としても薬用植物の産地形成を支援する動きが出てきている中で、この度、薬用植物に関する研究の状況や研究成果、漢方薬メーカーや地方自治体等での地域における特徴的な取組について、ご専門の方々にご紹介いただきました。

お忙しい中、ご寄稿下さいましたご執筆者の方々に厚く御礼申し上げます。

なお、本特集を組むに当たりましては、(独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センターの河原センター長に多大なご指導を賜りました。感謝致します。

本特集号が薬用植物の生産拡大を企画・検討する上でお役に立てれば幸いです。

(佐々木記)

発行日 平成25年9月30日  
発 行 財団法人 日本特産農作物種苗協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目4番1号  
白亜ビル 3階  
T E L 03-3586-0761  
F A X 03-3586-5366  
U R L <http://www.tokusanshubyo.or.jp>  
印 刷 (株) 丸井工文社



よき結果を  
あげたい  
者は  
よき種を  
まき

實篤